



優れた授業に学ぶ（第4回）

平成23年11月1日（火）

指導者 狛江第五小学校 主任教諭 森山あかね
国語 単元 「声に出して読もう」 6年1組

本時の目標は「親しみやすい古文について、内容の大体を知り、音読することができる」と「昔の人のものの見方や考え方を知ることができる」です。

教材の「天地の文」は子ども用の習字手本なので、表現が平易で子どもが音読し、暗誦もできるよう、言葉の調子が整えられています。

教師がまず範読し、各自で音読をした後、グループでも行いました。何度も繰り返し音読をする中で、七五の調子や文語の響きに親しみ、リズムを楽しみながら音読ができるようになりました。

意味が分からないと思われることば・表現は、デジタル教科書・ワークシートを活用して教師が意図的に質問をしたり、辞書を使い理解を深めました。

内容については知っている言葉を手掛かりにし、昔の人のものの見方や考え方を感じ取り、大体の意味を知り、最後は学級全員で音読をしました。

参加者の感想（26人参加）

- ・教師の話す言葉が多くもなく少なくもなく、聞きやすいテンポで、指示のあと活動に移るスムーズさ、どれも計算し尽くされていました。
- ・子どもを誉めることが多く、バリエーションも豊富でした。児童への声のかけ方も色々あることを学ぶことができました。

「優れた授業に学ぶ」は本年度から「東京都若手教員育成研修」として位置づけられ、「学習指導要領の理解」「授業力の向上」「言語活動の充実」を研究の課題にして実施しました。

今回は狛江第五小学校の副校長坂本互先生から「言語活動を行う上での課題と必要性」についてのご指導をいただきました。

